

別紙：町民意見反映シート

プロジェクト名	ただちに取り入れたいもの	時間をかけて実現できるよう調整していきたいもの	ほかの町民の皆様の声もききながら慎重に判断したいもの
みへでいろプロジェクト（環境保全型農業推進事業）			・水耕栽培のような新しい農業が実現できれば、新規参入が進むかも。 ・水耕栽培の新しい農業の普及はどうか。 →現在障害者就労支援施設さねんにおいて「アクアポニックス」という魚の糞を栄養とした野菜の水耕栽培を実施している。土地の確保等の課題もあるので情報収集をしていく。
みへでいろプロジェクト（農林畜産業未来創造プロジェクト事業）	・農業をしている人の話を聞くイベントがあってもいい。ツライ、キツイではなく夢のある農業のイメージを。 ・応募者に合わせてイベントをセッティングするのではなく、通年で枠を設けてそこに応募してもらえるように。	・小中高で段階的に農業について学べるカリキュラムを作りたい。 ・農業高校→仕事にする人は少ない。単発イベントだけでなく、段階的に学ぶ流れがあるといい。 ・高校生ぐらいの時期に本格的な農業体験ができるのは、将来農業をしたい学生にとって嬉しい。高校との連携も意識していきたい。	
地域資源高付加価値化事業（水産）	・大型船を使って広い漁場を開拓していきたい。	・島内の主要産業として付加価値をつけていけないか。 ・少ない労力で高い収入が得られることが従事者の減少が進む中で目指す必要がある。 ・島外に流れずに島内に流通させたい。	・魚の買い取りに補助をつけるなどできないか。
有機栽培推進事業	・葉物の島内産のものが少ない。 →地場産野菜栽培研修及び堆肥助成を活用した島内産野菜栽培の推進		・台風など、船が入れなくなるタイミングで島内で卵の流通が無くなる。 →卵ではないが、地場産野菜栽培研修及び堆肥助成を活用した島内産野菜栽培の推進による自給率の向上
起業・開業等支援事業	商工会と連携を密にして、企業・開業したい方への情報提供を行っていく		
まちゅんどプロジェクト「つながりづくり」	・（一社）おきのえらぶ島観光協会、（一社）シマスキ、と連携した島外での交流イベントの開催 ・島外居住の20～40代の島出身者及び沖洲会とのオンライン交流 ・島外の若者及び沖洲会から移住に関する相談や質問を受けやすい仕組みづくり	・島内在住者とIターン・Uターン者の世代間コミュニティの形成	・島出身者の子ども（2世等）や島外在住者を対象にしたサマーキャンプの開催

別紙：町民意見反映シート

プロジェクト名	ただちに取り入れたいもの	時間をかけて実現できるよう調整していきたいもの	ほかの町民の皆様の声もききながら慎重に判断したいもの
まちゅんどプロジェクト「環境づくり」	・えらぶ島づくり事業協同組合との連携による仕事紹介及び安定した雇用環境の確保 ・住宅や土地情報を空き家バンクに登録し、情報発信を行い住環境の整備 ・移住者や地域住民とのつながりやコミュニティを形成するための移住者交流会の実施。	・若者の就業・起業支援策の検討	
移住・定住相談窓口支援	・移住情報サイト「くらすわどまり」の運営管理 ・移住促進プロモーション活動 ・移住・定住相談対応の強化 ・移住・定住者向けの環境整備	・大学と連携し、学生の教育や、島の施策について大学教員という別の視野からの意見をもらう。	・移住支援金制度の創設 ・移住体験ツアーの費用補助
ようていあしばープロジェクト事業		・体育館を避難所(プライバシー確保)として利用できるよう取り組む ・プロスポーツの誘致 ・オーバーツーリズムへの対応 ・島の地理による総合交流施設の設計的な難しさ	・小中高校を一括化した教育施設の建設 ・統廃合を行う前に、現在の少人数での学校の運営方法を今一度考える必要がある ・廃校を総合宿泊施設化し災害時に役立てる
ようていあしばープロジェクト事業（ソフト）			・町民と意見交換しながら事業推進に取り組む
観光振興事業	・観光協会の体制強化 ・宿泊の稼働率の調査ができる体制づくり	・島民の観光業に対する関心を強めるために島民向けのエコツアーの実施 ・島民にとってよりよい観光ビジョン・体制を作ること	
まちゅんどプロジェクト「人づくり」	・島の魅力を学ぶイベントの企画、開催 ・島の課題解決プログラムの企画、開催 ・最先端技術を体験するイベントの企画、開催 ・企業版ふるさと納税等を活用した公営塾の運営	・民間団体等と協働で教育プログラムを実施	
むうーるし、ふでいらさープロジェクト	島の伝統文化の伝承	各字育成会、こども園等においての伝承活動	
子ども・子育て支援事業	子育て支援アプリによる各校診等の周知	総合的支援の実施「ほっとステーションの充実」	

別紙：町民意見反映シート

プロジェクト名	ただちに取り入れたいもの	時間をかけて実現できるよう調整していきたいもの	ほかの町民の皆様の声もききながら慎重に判断したいもの
むうるほうらしゃプロジェクト（自転車まちづくり）	・自転車講習会の実施 ・役場業務における自転車の活用	・町民体育大会での自転車競技実施 ・空港や港へのレンタサイクル整備 ・電動アシスト自転車購入補助の島外購入について	・学生への電動アシスト自転車のリース化
みじらしゃエリアプロジェクト	・不動産関係の賃借はうまくいかないのではなか →R7に設置予定の協議会メンバーに民間の不動産業者を加えアドバイス等をいただきます。	・身元保証が得れない方など貸すのが難しいのではないか →協議会で、先進地等の取組事例等を収集検証を行い、必要に応じてNPO等との連携や協議会独自の取組等を検討していきたいと思います。	
癒して健康づくり事業	・世代を越えて利用する場にしてほしい →タラソを活用した保健事業を継続し、指定管理者と協力して利用者が楽しく通える環境づくりを行っていきます。	・町民の人が行きたくなる施設とはなにか ・いま、利用したいと思う施設ではない →さらに多くの町民に利用してもらうために、施設補修により臨時休館の日数を減少させるとともに、指定管理者と協力してサービススタッフの人材育成等を行い、利用者の満足度向上および、多くの町民が利用したいと思える場所にしていきたいと思います。	
あたらむープロジェクト	・家庭レベルで生ゴミの減量に取り組む	・リサイクルには取り組まないのか →リサイクルのメリットをきちんと伝え、仕組み化する ・5年後、10年後のおとなになる子どもたちへ教育をする	